

# 道徳科学習指導案

第2学年 指導者

授業の視点

きつねが、うさぎの優しさに触れて心を揺さぶられる場面の役割演技をさせることは、相手に温かい心で優しく接しようとする実践意欲と態度を育てるのに有効であったか。

1 主題名 やさしい きもちで 内容項目 B 親切・思いやり

2 資料名 「くりのみ」

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、学習指導要領第1学年及び第2学年の内容項目「B 親切・思いやり」「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。」に基づいたものである。自分のことばかりを考えたり、自分の思いだけを主張していたりしては、よりよい人間関係を築くことはできない。よりよい人間関係を築いていくためには、様々な場面で、お互いを認め合い、思いやりの気持ちをもつことが大切である。そして、それは、相手の立場に立って励ましたり、助けられたりする親切な行為として表れることが期待される。

この時期の児童は、まだ、自己中心的な振る舞いが見られ、自分の都合を優先させたり、思いを押し通したりすることがある。また、自分の好きな友達や優しくしてくれた友達にだけ親切にするなど、好き嫌いによって親切な行動ができない場合も見られる。しかし、自己中心的な世界から次第に視野を広げ、相手のことを考えながら行動できるようになる時期でもある。

学校や家庭での様々な場面でも人と接する経験を積み重ね、相手の立場を理解したり、相手の気持ちに気づいたりして、思いやりのある行動がとれるようにしていきたい。そこで、ねらいとする道徳価値の理解「温かい心をもつことの大切さについて理解を深める」を基に、道徳性「身近にいる人に、優しい気持ちで接しようとする実践意欲と態度」を養いたいと考え、本主題を設定した。

(2) ねらいにかかわる児童の実態 ( 名)

学習に当たり、児童の意識調査をするため、アンケートを行った。結果は以下の通りである。

Q1 今まで、困ったときはどんなときがありますか。

Q2 そのとき、どんな気持ちでしたか。

Q3 困ったとき、どんなふうになすけてもらったり、親切にしてもらったりしましたか。

Q4 親切にしてもらったとき、どんな気持ちでしたか。

Q5 だれかに親切にできたことはありますか。

Q5 だれかに親切にできなかったことはありますか。あるとすれば、それはなぜですか。

Q6 親切にしてあげた時、どんな気持ちでしたか。

このような実態をふまえ、自分の気持ちだけで行動するのではなく、どんな時でもどんな相手でも、困っている人がいたときに相手のことを親身になって考え、「助けてあげたい。」「親切にしてあげたい。」という思いやりの心を持ち、温かく手をさしのべることのできる児童を育てたい。

### (3) 教材について

北風の吹く寒い原っぱで、ぼったり会ったきつねとうさぎ。それぞれおなかをすかせており、別々に食べ物を探しに行く。きつねは、見つけたどんぐりを独り占めしようとし、うさぎは、やっと見つけた栗の実をきつねに分けてあげようとする。そんなうさぎの行動に心を動かされ、きつねは涙を流す。

本教材では、きつねとうさぎの振る舞いが、対比的に描かれている。きつねは、自分のことだけを考えて、うさぎにうそをついてしまうが、それと反対にうさぎは親切にしてくれる。

登場人物の言動や気持ちを想像させ、涙を流したきつねの心情に共感させながら、相手に親切にする行為のすばらしさを実感できるようにしたい。

### 資料の分析

・北風（寒い季節） ・おなかがすいている

きつね

- ・どんぐりをたくさん見つける。
- ・おなかいっぱい食べる。
- ・残りをかくす。

うさぎ

- ・しなびたくりのみ
- ・2つだけ、やっと見つける

● 「だめ、だめ。何も見つかりませんでした。」  
→本当は、たくさん食べたけど、独り占めしたい。

● 「それは、お気の毒ですね。」  
● しばらく考えていましたが、やがて「うん。」と一つうなずくと・・・  
→自分の分は減ってしまう。 **迷い**  
→きつねもおなかをすかしている。

自分がよければいい

● 「えっ。」  
● 涙が落ちてきた。  
→自分の分は減ってしまうのに、うさぎはなんて優しいんだろう。  
→自分はあげなかった。悪いことをしてしまったな。

予想外

「やっと、二つ見つけたのです。一つあなたに差し上げましょう。」  
→きつねも困っているだろう。  
→困っているなら助けてあげたいな。

相手を思いやる

反省 心をうたれる

### 4 指導方針

#### ○本時で扱う道徳的価値を想起し、問題意識をもつために

- ・日常生活を想起させ、困ったときに親切を受けた経験やその時の気持ちなどを確認して、教材やねらいへの方向づけをする。
- ・児童の親切な行動や気持ちに対するアンケートをとり、資料を読む前に価値理解がわかるようにしてから、考えさせていく。

#### ○児童一人一人の主体的な考えを引き出すために

- ・挿絵付きの朗読や場面絵などを提示し、資料理解をはかりながら、きつねやうさぎの気持ちを考えさせていく。
- ・登場人物の気持ちになりきって発言させるために、教師がうさぎ役・児童がきつね役になり、演技の中で考えを引き出す。
- ・役割演技の前に自分の考えをワークシートに書かせ、自信をもって演技できるようにする。

- ・ 2人が自分の考えに自信をもって発表できるよう、一人一人の考えに言葉を補いながら発問し、考えを引き出していく。

○中心的な教材によって、本時で扱う道徳的価値の追求を行うために

- ・ 中心発問では、くりのみを見ながら涙を流しているきつねのせりふを考え、役割演技させることで、うさぎの優しさに触れたきつねの心の変容により深く寄り添わせる。

○本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返るために

- ・ 週末の振り返りでは、自分事として考えられるように事前のアンケートに立ち返り、親切にできた経験や親切を受けて喜んだ相手の言動で自分もうれしくなった経験を思い出させ、今後の実践への意欲につなげる。
- ・ こころの木に「こまっている人のためにできること。」を書いて、掲示する。

5 校内研修との関わり

6 本時の学習

- (1) ねらい きつねがうさぎの優しさに触れ、心を揺さぶられる場面の役割演技を通して相手に温かい心で優しく接しようとする実践意欲と態度を育てる。

- (2) 準備 テレビ パソコン 場面絵 ワークシート お面  
ふりかえりカード こころの木カード

(3) 展開

過程	学 習 活 動	時 間	主な発問と予想される反応 ○基本発問◎中心発問△補助発問	指導上の留意点 ☆評価
つかむ	1 アンケート結果から親切についての自分たちの認識と課題意識をもつ。	5	○ 困ったとき、誰かに親切してもらったことがありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前にとったアンケートの結果を示し、教材やねらいの方向づけをする。</li> <li>・ 本時では、「思いやり・親切」について考えていくことを伝え、課題意識を持たせる。</li> </ul>
こまっている人のために、どんなことができるといいのでしょうか。				
考えを	2 資料「くりのみ」を読んで話し合う	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どんぐりをたくさん見つけたときに「何もみつきりませんでした」とうそを言ったとき、きつねは どんな気持ちだったでしょう。</li> <li>・ せっかく見つけたんだから、だれにもあげたくない。</li> <li>・ あげたら、自分の分がなくなっちゃう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内容把握ができるように、テレビを活用して、挿絵を見せながら朗読を聞かせる</li> <li>・ 朗読後、場面絵を提示しながら、あらすじを確認し、うさぎときつねを対比的に捉えさせる。</li> <li>・ 自分本位からうさぎにどんぐりをあげたくないきつねの気持ちをおさえておく。</li> </ul>

つ			<ul style="list-style-type: none"> <li>・二人とも同じ状況にもかかわらず、自分のことだけ考えたきつねと相手のことを思いやるうさぎを対比的に捉えさせる。</li> </ul>
交流する	<p>3 きつねが涙を流したわけを考える。</p>	<p>20</p> <p>◎うさぎのくれたくりのみを見て、目からぼたりぼたりと涙を落としているきつねは、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <p>△悲しくてないているのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんでじぶんは、あげられなかったのかな。こんどは、あげられるといいな。</li> <li>・ごめんね。あげられなくて。</li> <li>・ありがとう。うれしいよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをしっかりと持たせるために、ワークシートに書かせてから、役割演技をさせる。</li> <li>・きつねの気持ちを掘り下げて考えられるように役割演技は、教師がうさぎ役を、児童がきつねの役を演じ主題にせまるようにする。</li> <li>・ワークシートに書いてある考え以外のせりふを役割演技の中のやりとりで引き出すようにする。</li> <li>・お互いの役割演技を見て感じたことを交流する。</li> </ul> <p>☆親切にしたりされたりするとどんな気持ちになるか考えているか。 (発言・役割演技)</p>
	<p>4 自分の生活をふり返り、考えを深める。</p>	<p>5</p> <p>○今までに困っている人に親切にしてあげたことはありますか。親切にしてあげた時、どんな気持ちでしたか。</p> <p>○こまっている人を見つけた時、どんなことができるといいのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やさしく声をかけてあげる。</li> <li>・てっだってあげる。</li> <li>・その人の気持ちになって考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前のアンケートに立ち返り、自己を振り返る視点を与え、本時のめあてについての考えを可視化する。</li> </ul> <p>☆学習をふり返ることで、温かい心もち、相手に優しい気持ちで接しようとしているか。(発表)</p>
ふり返る	<p>5 学習をふり返って「ふり返りカード」「こころの木カード」に記入する。</p>	<p>5</p> <p>○今日の学習をふり返って、カードに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書く活動を通して、一人一人が道徳的価値の自覚を深められるようにする。</li> </ul>

